

「さかなとふれあう！水路で釣り体験&釣れた魚を観察してみよう」を開催しました！

令和7年6月14日(土)に、美浦村舟子水神宮前の水路において、家族参加型の釣り体験と釣れた魚の観察を通して、霞ヶ浦に生息する魚とふれあい、霞ヶ浦をより身近に感じることにより、霞ヶ浦浄化の意識の向上を図ることを目的に、標記イベントを実施しました。

開会式では、小見委員長(一般社団法人土浦青年会議所)の挨拶、NPO法人水辺基盤協会のスタッフの植生浄化施設の説明の後、吉田副委員長(NPO法人水辺基盤協会)から水辺の事故を防ぐライフジャケットについて説明があり、実際に着用して釣りに臨みました。

釣り体験では、釣りの仕方やコツについて解説し、釣れた魚についての説明を交えながら、参加者が釣った魚を観察しました。フナ、タナゴ、モツゴ等の魚が釣れ、驚きや喜びの声が上がりました。



開会式（委員長挨拶）



開会式（植生浄化施設説明）



開会式（ライフジャケット説明）



釣り体験様子



釣り指導様子



魚GET！

釣り体験の後は、魚の観察。水槽内の自分が釣った魚を見つけたり、スタッフに説明を聞いたりしました。その後は、「霞ヶ浦冒険ツアー」と称し、普段はなかなか入れない植生浄化施設(魚道)の中を楽しく探検しました。

閉会式では、吉田副委員長から霞ヶ浦に棲む「アメリカナマズ」の説明があり、アメリカナマズバーガーと白魚の佃煮を配布しました。雨が降ってきたこともあり、持ち帰って食べる人が多かったようですが、『タラのような柔らかい身を想像していたが思ったよりしっかりとした身で美味しかった』、『臭みがなくて美味しい』等の意見が寄せられました。



魚の観察



植生浄化施設探索



閉会式（アメリカナマズの説明）

今後のイベント等の開催に当たっては、皆さんからの声を参考にさせていただきます。  
御参加いただいた皆さま、ありがとうございました！



集合写真